



みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会

第38回ボイス・オブ・ユース



平成最後となる『第38回ボイス・オブ・ユース』（青少年の主張）が、秋晴れの11月25日に南公会堂（みなみん）で開催されました。

オープニングセレモニーは平楽中学校吹奏楽部による、力強い「マーチ・エイプリル・メイ」と思わず体が動いてしまいそうな「スィングしなけりや意味がない」の2曲の演奏をステージと客席が一体になって楽しみました。

開会の式典では南吉田小学校の清水秀男さんの開会の言葉に続いて区青指協議会の山崎会長、大木区長の挨拶、また来賓を代表して南区連合町内会長連絡協議会の千葉会長の祝辞があり、続いてロータリークラブの会長さんほか9名の来賓が紹介されました。

開会セレモニーの後表彰朗読の部に移り、最初に区青指協議会の後藤副会長から、今年度の作文のテーマが①地域活動に参加して②私の夢③私のまち・学校・友達・家族④弱い心と向き合う⑤自由課題の5つであり、小学校3年生から中学生、高校生、一般（20才まで）の方々から2,634編の作文の応募があったこと、選考の経過などが報告されました。

集まった作文はどれも作者の想いや考えが自分の言葉でしっかりと表現され、読み手の心に響くすばらしいものばかりでした。

そのような中から選考され、今回登壇された児童生徒の皆さんは、緊張の面持ちの中でも選ばれた自分の作文に誇りと自信をのぞかせた堂々とした態度で主張し、表情は皆輝いていました。会場に来ていた多くの方も共感し感心していた様子でした。

最後に蒔田中学校の塩谷純一さんの閉会の言葉の後、運営協力の児童・生徒が紹介され会場は暖かい拍手に包まれ閉会を迎えました。

運営に携わった児童生徒の皆さんは学校や学年も異なる混成チームでしたが、協力し合いながら、笑顔でそれぞれの役割を担って活動していた姿はとても印象的でした。

このようにして青少年指導員と児童生徒の皆さんと一緒に作り上げる「ボイス・オブ・ユース」は、有意義で充足感に満たされたとても素敵な一日になりました。これからも多くの青少年の若い感性が磨かれる貴重な機会として、この活動がますます発展していくことを願っています。（山田・黒住）

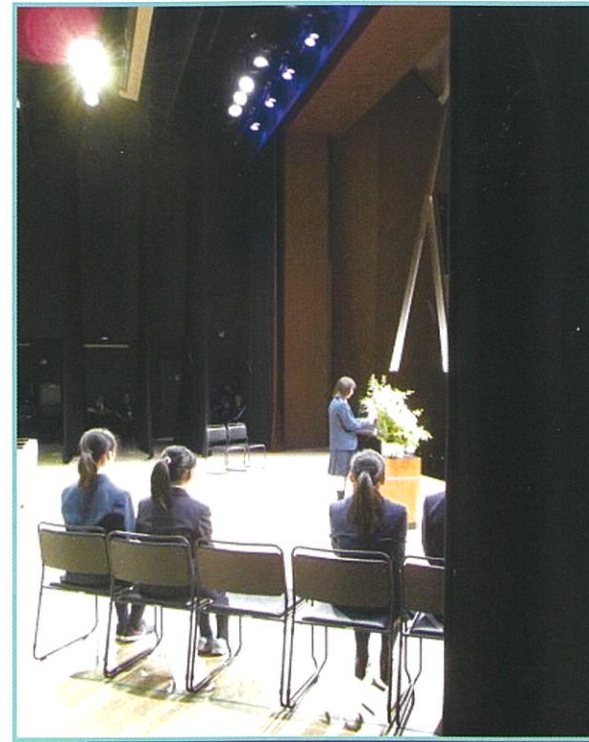
青少年指導員（青指）は、ボイス・オブ・ユースやふれあいキャンプなどの行事や地域での取り組みを通じて、青少年の健全育成・社会環境の健全化に取り組んでいます。

第38回 ボイス・オブ・ユース応募・入選作文数総括表

テーマ	小学生		中学生・高校生・一般		外国語作文	
	応募数	入選数	応募数	入選数	応募数	入選数
1 地域活動に参加して ボランティア、青少年指導員の行事に参加して	58	2	51	3	1	1
2 私の夢 将来の夢、こんな人になりたい	256	7	480	13	1	0
3 私のまち・学校・友達・家族 みんなに自慢できること	79	2	114	4	2	0
4 ルールとマナーに向き合う スマホ、ゲーム、酒、たばこ、薬物など	110	2	329	10	0	0
5 自由課題	419	10	734	21	0	0
合計	922	23	1708	51	4	1

審査経過報告

- ・募集期間
平成30年8月1日から8月31日
- ・作文応募数
2,634編
- ・選考にあたって
9月8日に南区青少年指導員81名により一次選考。応募数の約1/5にあたる608編の作文が審査を通過。二次選考は通過した作文を各地区に振り分けて、9月14日から9月25日の間に南区青少年指導員182名がそれぞれ数十編の作文を読んで行った。最終選考は10月3日に実行委員会により行われ、その後に総合調整を行い、選考された作文を各学校へ確認していただき、最終的に74編を入選作品として決定。



発表者の感想文

ボイス・オブ・ユースに参加して

南吉田小学校5年 劉 宇晨

ほくは、去年の4月に日本に来て、はじめてボイス・オブ・ユースに作文を出し、選ばれました。ほくの心に、どうしてほくが選ばれるのかと思いました。

表彰式では緊張しましたが、自分のことをたいへん誇りに思いました。

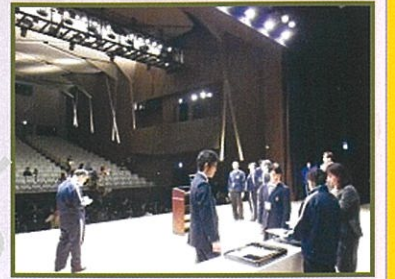
ボイス・オブ・ユースに参加して

六ツ川中学校3年 加世 葉音

今回、ボイス・オブ・ユースに参加させていただき、私を感じたことは、皆それぞれ日常生活の中で見聞きしたことに対して様々な視点の考えをもっているのだということです。同じテーマの作文でも一人一人がまったく違う考えを持っていました。特に家族について話す小学生や平和について話す同年代の話を聞くと、自分では気づかなかった視点や考えに、はっと思われました。他にも色々な考えをきけて自分の視野を広げる良い経験になりました。



ボランティアのみなさんの声



・普段できない体験なので、今回このようなことができて良かった。【音響・照明】

・黒いお盆が持ってて楽しかった。【介添】



・とても緊張した。1回だけかんでしまったけど、皆に伝えやすくて良かったかなと思う。

・最初は自信がなくて、自分の番が近づいてきて緊張したけど、皆がちゃんとやっているし、友達ががんばって応援してくれてうまくできた。

【司会】

・大変だったけど、いろんな人と関わったので楽しかった。

・偉い人(区長とか)と関わって良かった。

【受付】

平成30年度 横浜市青少年指導員研修会開催 神奈川区

9月9日（日）、神奈川公会堂の525席を埋め尽くし、市青指研修会が開催されました。オープニングでは、神奈川大学管弦楽団の演奏により、私たちにも運動会や卒業式などでも馴染みのあるカルメンやハンガリー舞曲、カノンなどの曲で会場が一体になりました。

次にスライドとビデオにて、神奈川区の青指の活動が月を追って紹介されました。ものづくり体験教室、小学校音楽フェスティバル、親子ふれあいスケートなどの行事の紹介があり、地区研修会は年1回、21地区で持ち回りの開催との事でした。



自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

講師 岡田優子

「見守る力が子どもを育む」をテーマに基調講演が行われました。

- 知・・・生きてはたらく知
- 徳・・・豊かな心
- 体・・・健やかな体
- 公・・・公共心と社会参画
- 開・・・未来を開く志

横浜市の教育はこの五つの力を育む教育に重点をおいています。これらの教育には、家庭、地域、学校、教育委員会、企業等関係機関の社会全体で子どもを育てていくことが重要で、学校の授業は大切にしていますが、賄いきれない部分で地域の皆さんのお力が必要となってきます。

スマートフォンやネットが発達した現代、スマートフォンに相談するのではなく、身近な大人に相談できるような地域社会であって欲しい。地域は本物に触れる体験ができる場所です。お祭りなどでお釣りの計算をしたり食べ物を作ったりなどは大変良い経験となっています。またキャンプなどの自然体験を通して、自分の命は自分で守るといったバーチャルでなく実体験ができる場を提供して欲しいと願っています。（門井）

全市統一行動 社会環境健全化キャンペーン - 区内6か所で活動 -

ボイス・オブ・ユース開催日の午前中に、子どもたちが健全に育つ社会をつくる「社会環境健全化キャンペーン」の活動を広く知ってもらうため、



私たちの中村地区は、横浜橋商店街でキャンペーン活動を行いました。

当日は陽気にも恵まれ、又、最終日の酉の市という事もあり、商店街はかなりの人通りで周辺にも、酉の市目当ての方もたくさんいらっしゃり大変にぎやかな中で、チラシを配ることが出来ました。

チラシと一緒に啓発グッズを配布中、『この品、何』と尋ねられ、『綿棒とばんそうこうが入っていて重宝しますよ』などと、いろいろやり取りをしながら穏やかな雰囲気の中で、少しずつでも多くの人にこういう活動をしていると認識していただこうと頑張りました。

この活動を通じて主旨を幅広く知って頂き、地域の皆さんと一緒に子どもたちの健全育成のために、これからも盛り上げていきたいと思えます。（中村地区 家泉・谷）

1月12日(土)13時にスポーツ推進委員と初の合同全員研修会がY校(横浜商業高校)で開催されました。研修会はY校と共催でパラリンピアン講演会とパラスポーツ体験会が行われました。

講演会は、先天性二分脊椎(※)のパラアイスホッケー選手でNPO法人の代表として障害者スポーツの普及に尽力されている上原大祐氏とY校3年生の庄司明日香さんとのインタビュー形式で行われました。

二人の軽妙なやり取りの中で講師の生い立ちやパラアイスホッケーとの運命的な出会い、その後のアメリカでの選手生活のことや日本との環境の違いなどが、ユーモアを交えながら紹介されました。その中で障害者スポーツは障害者だけでやるものと思っている人が多いが、実は健常者も体の一部を使わずに一緒に楽しむ「オフスポーツ」で



激しいせめぎ合いを体験 車椅子バスケット

講演会に続いて、ラポール横浜の職員や選手たちの丁寧な指導のもと車いすバスケットボールとボッチャ体験会が行われました。青少年指導員やスポーツ推進委員、Y校生などの参加者はそれぞれの競技の練習後に模擬試合を体験しました。参

青少年指導員 合同 全員研修会開催 スポーツ推進委員



あり、皆さんも是非経験してもらいたいという話が特に印象的でした。

最後に「2020年は日本の障害者スポーツにとってゴールではなくスタートの年だ。自分も子ども達のために障害者スポーツの普及活動をしていくので、皆さんにも私たちのチームの一員として障害者スポーツの発展に協力してもらいたい」と熱い思いを語り、講演会はお開きとなりました。

加者が一生懸命にプレイする一方で、自分のイメージと身体の動きがなかなか一致しない場面もあり、見学者からは歓声に混じり笑いも起こるなど、和気あいあいとした中で貴重な体験をすることができました。

時折、雨がぱらつく寒い土曜日の午後でしたが、寒さも忘れるほどの熱気と充実感のある全員研修会でした。参加した皆様、お疲れ様でした。(濱)



ボッチャ体験 和気藹々で

※二分脊椎(先天性二分脊椎):本来ならば脊椎の管の中にあるべき脊髄が脊椎の外に出て癒着や損傷しているために起こるさまざまな神経障害の状態を言います。主に仙椎、腰椎に発生しますが、稀に胸椎、頸椎にも生じ、その発生部位から下の運動機能と知覚が麻痺し、内臓の機能にも大きく影響を及ぼします。したがって症状の個人差が非常に広いのも特徴で、単純に比較できません。(日本二分脊椎症協会公式サイトより抜粋)

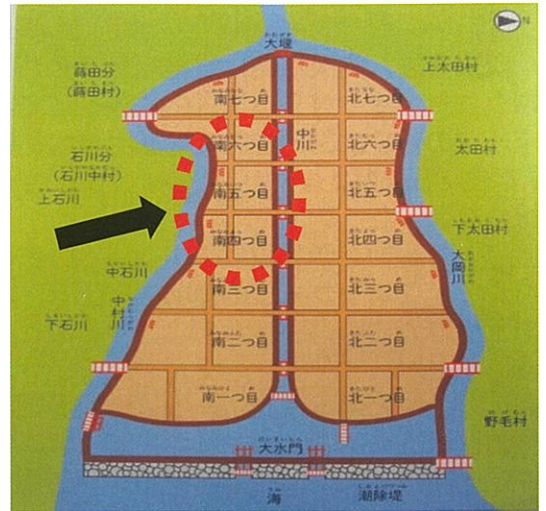
寿東部地区を紹介します

※あの「吉田新田」に住んでいます！

我が寿東部連合地区は、「吉田新田」の中にあります。

今から350年前、江戸幕府より横浜が開港地に「指名」される190年以上も前に、江戸の材木・石材商、吉田勘兵衛により完成。右図によれば、真ん中の中川（現、大通り公園）より左側の南四つ目から六つ目の場所に当たります。

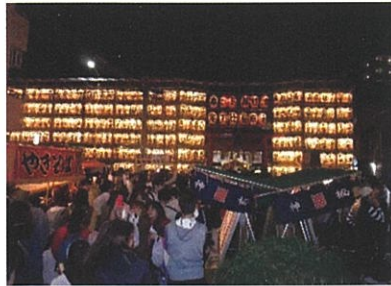
現在は、10の町内会で構成されており、横浜橋通り・医大通り・三吉橋の三つの商店街と並びに三吉演芸場と、下町の香りいっぱいの地域です。青指の主な行事は、もちつき大会、AED講習会、盆踊り、お三宮祭礼、酉の市パトロールと、春夏秋冬、イベント満載の楽しい連合町内会です！近くにお出かけの節は、商店街でお買い物、宜しくお願いいたします！



「吉田新田開発後概念図」



もちつき大会



酉の市パトロール



AED講習会

青少年指導員紹介



高根東町内会
関口次男元地区会長
頼れる兄貴的存在
居酒屋味坪CEO



真金第一町内会
岡本修司地区会長
物腰が柔らかく、
人にやさしい
大鷲神社お巫女？



浦舟東町内会
峰川和久副会長
トラブル・もめごと
ウエルカム！法的
に解決します



永楽町町内会
鈴木富 広報部
歴史好き、活動
は楽しく、日本酒
は黒龍が好き



白妙第二町内会
若林雅人 活動部
得意の呑みニケー
ションも嫁には通
用しない（笑）



高根西町内会
江波戸昭夫 新任
指導する側は不慣
れでも、持ち前の
体力で現場に貢献



真金第二町内会
竹内宏行 指導員
元子供会会長
納豆好き、粘り
強く頑張ります



白妙第一町内会
竹内祐治 指導員
普段は名古屋、週末
横浜と目が回る
お酒のせい？！



万世町町内会
高橋義和 指導員
未来、そして子供
達の為に、日々、
環境問題に取り組む



浦舟西町内会
築地徹郎 新任
世の中は「豊洲」
でも、私は
「築地」に徹します

蒔田地区紹介

蒔田公園



蒔田地区は、鎌倉街道を挟んだ18町内会・自治会からなり地域内には蒔田公園を要する下町色の濃い地域です。

主な活動としては①蒔田小学校運動会での交通整理・警備②蒔田公園<<光のぶろむなあと>>への参加③七福神めぐり④豚汁会 があります。

現在は、男性14名女性3名で活動中。



<p>① 氏名 ② 青指年数 ③ 町内会・自治会名 ④ 一言 ⑤ 趣味</p>	<p>① 石井廣宣(会長) ② 6年 ③ 宮・花・宿3・4丁目町内会 ④ 熱心に青指活動に励んでいられる先輩に敬意を感じます。 ⑤ スイミング・ウォーキング しています</p>	<p>① 保坂彰一(副会長) ② 28年 ③ 共進町一丁目町内会 ④ 子ども達の笑顔を見ますと、励みになります。 ⑤ ドライブ・温泉</p>	<p>① 上妻慎(副会長) ② 15年 ③ 蒔田第二町内会 ④ 15年も経過しているとはびっくり。青指の皆さんと楽しく盛り上げていきます。 ⑤ ゴルフ</p>
<p>① 岡本英樹(副会長) ② 17年 ③ 朝日マツヨリ横浜蒔田自治会 ④ でも好きだからやるんだよね!子どもの笑顔を見ると元気がもらえる。 ⑤ スポーツ、見るのもやるのも</p>	<p>① 櫻井常行 ② 25年 ③ 東蒔田第一町内会 ④ 地区会長を3期させて頂き楽しかったです。良き仲間にも恵まれ感謝しています。⑤ 将棋</p>	<p>① 安田浩之 ② 19年 ③ 榎町東部町内会 ④ コミュニティの活性化を図り、老若男女の笑顔をふやしたい。 ⑤ サッカ、ゴルフ、映画鑑賞</p>	<p>① 伊東富士子 ② 13年 ③ 榎町一丁目町内会 ④ 子ども達の楽しい思い出作りのお手伝いができたら良いな ⑤ 手芸</p>
<p>① 近藤建 ② 9年5ヶ月 ③ 共進町二丁目町内会 ④ 頑張ります。 ⑤ 読書</p>	<p>① 内田豊秋 ② 9年 ③ 東蒔田第二町内会 ④ なかなか行事に参加できませんが、参加の時頑張ります。 ⑤ ナンプレが大好きです。</p>	<p>① 杉山治彦 ② 6年11ヶ月 ③ 蒔田団地自治会 ④ 余り活動できませんが少しでも地域の為にお役に立てればと思います。 ④ バンド活動(ギター)</p>	<p>① 関口康治 ② 4年3ヶ月 ③ 蒔田第三町内会 ④ 子どもの環境は日々変わっているが、前向きに参加していきたい。 ⑤ 史跡巡り</p>
<p>① 鈴木ロソネル ② 4年 ③ 共進町三丁目町内会 ④ 楽しく参加させて頂いております。 ⑤ 登山</p>	<p>① 杉浦啓太 ② 3年 ③ ルネ横浜蒔田グランヒルズ自治会 ④ 二期目となります。 ⑤ 旅行が好きです。</p>	<p>① 平澤正俊 ② 3年 ③ 蒔田第一町内会 ④ 皆さんと協力して子ども達に楽しい企画を作りたい。 ⑤ ゴルフ・竹・家庭菜園</p>	<p>① 江間美佐恵 ② 1年 ③ 宮宿花1・2丁目町内会 ④ 初めてで右も左も分かりませんが、全力で頑張りたいと思います。 ⑤ スキー</p>
<p>① 人見麻衣 ② 1年 ③ 蒔田第四町内会 ④ 初めての事だけですけど皆さんと一緒に頑張ります。 ⑤ 音楽鑑賞</p>	<p>① 小島進 ② 1年 ③ アルス蒔田町内会 ④ 頑張ります。 ⑤ 読書</p>	<p>七福神めぐり</p>	

恒例となっている七福神めぐり。平成31年は1月6日(日)に開催され、ウォーキングを楽しみながら、一年の幸を祈りました。児童の参加が少ないのが実情ですが、参加してくれた皆さんにはお土産を用意するなど楽しんでもらえるよう、工夫しています。2月2日には豚汁大会を開催しました。キッズクラブの協力を得ながら、200人近く集まる子ども達にゲームを楽しんでもらい、青指が作った豚汁を振舞います。



豚汁大会でゲーム

市青指大会

南区顕彰者 15年表彰 6名
10年表彰 4名



3月9日(土) 13時30分から県立青少年センターにて、青少年指導員大会が開催されました。当日は、永年勤続者の方々を祝福するような春の晴天に恵まれ、多くの方々が来場されて会場のホールはほぼ満席となりました。

大会は、「開会のことば」で始まり、「(任期中に逝去された方への)黙祷」、「市歌斉唱」、「主催者あいさつ」と続き、「永年勤続者の表彰」へと進行しました。

今年の市全体での永年勤続の方々は、それぞれ25年以上が23名、20年が7名、15年が105名、10年が24名の計159名おられ、改めて青少年指導員の活動が、実に多くの先輩方の活躍によって支えられてきたことを実感いたしました。

なお、南区からは以下の方々が顕彰されました(敬称略)。おめでとうございます。

15年勤続：藤井カヨ子、上妻慎、宇野俊幸、深堀保雄、大川博、松尾英司

10年勤続：荒武秀昭、横澤良展、家泉雅範、谷二郎

後半は、「地域住民が支える校内居場所カフェの実践から学ぶ中高生との関わり方」と題して、石井正宏氏による記念講演が行われました。

講師の石井氏は、ひきこもりにさせない予防支援に取り組むため、NPO法人パノラマを設立して実践的な活動をされている方です。例えば、田奈高校などでお昼休みや放課後に、ボランティアの方々と共に「校内居場所カフェ」を開いて、相対的貧困家庭の子供たちや引きこもり予備軍の子供たちの支援活動を行っておられます。

講演ではその活動内容などを中心にご紹介いただきました。引きこもりがちな子供たちにおやつや食事を提供しながら、人生の糧となるヒトやモノやコトなど文化的な知識・体験をシャワーのようにあびさせることで、子供たちが自立できるようになると言います。

重要なことは、このような交流を通して子供たちと信頼を醸成する(信頼貯金を貯める)ことだと言います。これは、我々青指の活動にとってもとても大事なことだとつくづく思いました。(今井)



編集後記



「みなみ青指だより」58号をお届けします。年2回発行の広報誌ですので、この58号は今年度下半期の行事を載せてあります。

その中でも「ボイス・オブ・ユース」は一大イベントです。作品を書かれた生徒さん、当日運営に携わったボランティアの皆さんの素晴らしい活躍をこの記事から感じ取っていただけたら幸いです。

広報部会も新メンバーを加えて活動してから一年が経過しました。和やかな雰囲気の中で作られるこの「みなみ青指だより」を今後ともご期待下さい。(青木)

上半期、青指行事予定

- 5月19日 南区青少年指導員協議会研修会
- 6月26日 区内小学校児童支援専任教諭と中学校生徒指導専任教諭との打合せ会
- 7月13日~15日 御殿場ふれあいキャンプ2019
- 7月(予定) 全市一斉統一行動パトロール
- 7月(予定) 第44回南まつり

編集委員

広報部会長	大川 博
六ツ川地区	小島 孝幸
お三の宮地区	稲垣 恵子
太田地区	今井 馨太郎
太田東部地区	鈴木 富
寿東部地区	平野 直子
中村地区	上妻 慎
蒔田地区	
堀ノ内睦町地区	
井土ヶ谷地区	門井由美子
南永田山王台地区	山田 智久
北永田地区	加藤 春哉
永田みなみ台地区	志田 宣雄
六ツ川大池地区	青木 慶一
本大岡地区	内田 正幸
大岡地区	濱 哲夫
別所地区	黒住 直
広報部会担当役員	
太田地区会長	渡邊 裕
別所地区会長	後藤 茂

編集発行 南区青少年指導員協議会
事務局 横浜市南区地域振興課内
印刷 株式会社ジユエル印刷